

CONCIERGE

By Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 13/Feb/2017/vol.432



桃枝（福島県産） Peach blossom

煌びやかな雛人形に添えられる桃の花を見ると、暖かな春の日差しを連想する人も多いことでしょう。目にまばゆいほどに映る濃いピンク色の「桃の花」は、まさに春の扉をより一層大きく開けるような、そんな印象の花でもあります。3月3日の雛祭りは、もともとは「上巳の節句」といって五節句の中の一つ、古代中国では季節の節目には災いをもたらす邪気が入りやすいと考えられていたため、厄払いの行事が行われており、それが遣唐使によって伝えられたのが日本での起源とも言われています。桃の節句というのは、桃は邪気（鬼）を払うものとして伝えられ「桃太郎」の話はそれが元となったという説もあります。桃はほかにも不老長寿を表すもの。「百（桃）歳」生きるといった意味合いもあり、平安時代の人形遊びが時代とともに男女の人形を飾り女子の健やかな成長としあわせな結婚を祈るといった今の雛祭りにつながってきたそうです。麗らかな春の一日をより印象付ける「桃の花」、丸く濃くピンク色に膨らんだ蕾に、これからの暖かい季節に期待を膨らませるような私たちの気持ちも重なっていきます。